

# 2019 年度 事業報告書

青少年夢育み委員会  
委員長  
佐久目 篤

## 1. 事業内容

- (1) 会員拡大（6名入会）
- (2) 1月2019年度新年会「A l l O u t」設営
- (3) 5月公開例会「俺のA i がこんなに可愛いわけがない」
- (4) 8月公開事業「辰吉丈一郎の熱血親子教室～お前の信じるお前を信じろ～」
- (5) 9月公開事業「児童養護施設 双葉寮を知ろう～大人との関わりを必要とする子供たち～」
- (6) 10月米フェスキッズパーク設営

## 2. 所感

青少年夢育み委員会では一年を通して、子供たちが夢を持って未来を生き抜く発想力を養い、夢に向かって挑戦することの大切さを学び、私たちも長岡の子供たちの現状を知る活動を行ってまいりました。

一月には2019年度一般社団法人長岡青年会議所のビジョンを打ち出し、盛大な門出を飾るべく、250名の来賓・特別会員・LOMメンバーにお越しいただき開会することができました。新年会の中でご来賓である行政や教育委員会、各種団体と親睦を深めることができた結果、今年度の長岡青年会議所の各事業に対して、補助金や共催や後援をいただけるきっかけになったと感じました。

五月には世界最強のA Iの開発を目指す長岡出身の天才プログラマー清水亮氏を講師に迎え長岡の子供に対し、これから訪れるであろうシンギュラリティをはじめとした加速度的に変化する未来に対してどう対応するのかを講演いただきましたが、技術や知識を育む事より人間独自のものが、思いやり・まごころといった感情を豊かに育むことで対応できると教えていただきました。長岡の子供たちに響く例会にしたいと清水亮氏にお願いに行ったところ、熱意が伝わり通常100万円の講演料を無償としていただいたことは感無量でした。

五月例会構築にあたり、A Iの進展に関し委員会メンバーに判らない部分が多くあり、私たち自身も学ぶ事が多い貴重な機会となりました。

八月の公開事業には元W B C世界チャンピオンで49歳にしていまだ現役ボクサーの辰吉丈一郎氏にお越しいただき子供たちと保護者に対し、夢に向かい挑戦することの大切さをご講演いただきました。長岡市・教育委員会に主旨を御理解いただき、共催いただけたことも嬉しかったです。厳しい環境のなか、夢に向かい挑戦を繰り返し世界チャンピオンという栄光と網膜剥離という挫折を経験し、夢をあきらめず再度世界戦を目指す辰吉氏にしか話せない内容を聞く貴重な機会になりましたが、講師の音量に見合った音響設備でなかったため十分に伝わらなかった部分が悔やまれます。しかし内容を聞いた私たちがしっかりと子供たちへ伝播していくことで今回の事業を活かすことができると信じます。

九月には長岡市の児童養護施設「双葉寮」を訪問し子供たちとのふれあいを通じて、養護を必要とする子供たちの現状を学びました。更に9月公開委員会におきまして林寮長から具体的な現状を聞き、子供たちが社会の大人たちとの交流や体験を必要としていることを教えていただきました。そこで長岡青年会議所が10月に企画している米フェス内のキッズパーク設営を双葉寮の子供たちに手伝っていただく運びとなりました。準備を進める中で子供たちも楽しみにしていましたが、残念ながら台風19号の影響で中止となりました。今回双葉寮の子供たちと準備をしていく過程で感じたことは、厳しい生活環境のなかでも明るく素直な性格の子供たちでしたが、非常に愛情に飢えていると感じました。私たち大人が長岡の未来を担う子供たちにできることと考えさせられる事業となりました。青少年を対象とする委員会の最後を締めくくる事業としてやりがいを感じました。

また一年を通じて会員拡大に一丸となって取り組んだ結果6名の新入会員に入会していただきました。成長を促すとともに卒業できるよう今年度メンバーで導いて参ります。

最後になりますが、入会3年目で未熟な私を信じてくださり、責任ある青少年委員会の委員長として抜擢していただいた上村英輔理事長、迷える私を的確に指導していただいた諏方浩二専務理事、委員会をしっかりと見ていただき何度もお電話くださった深田純担当副理事長、遅くまで一緒になって熱く議論してくれた今泉知久担当常任理事、こんな私を力強く支えてくれた委員会スタッフ、それぞれの事業に全力で協力して議案を完成させてくれた各チーフ、沢山の小委員会をして遅くまで議論して9回もの100%委員会を達成してくれた委員会メンバーに感謝申し上げます。最高的一年間でした！ありがとうございました！！

